

月刊島民

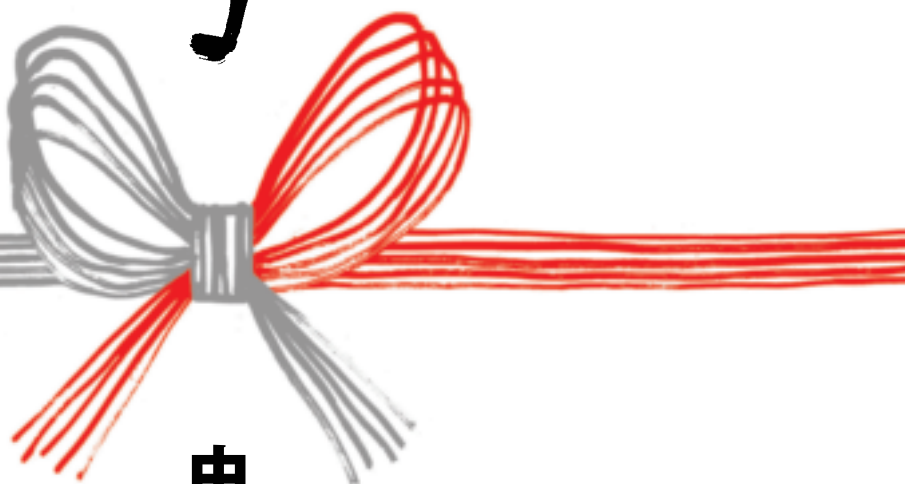
中之島

Vol.100 2016 11/1

●iPadサイズ(と、ほぼ同じ)

橋を渡る人の「街事情」マガジン

初詣



中之島100の入口。



ナカノシマ大学



「落語ワールドの
言葉遣い」

林家花丸 桂三四郎

申し込み受付中!

中之島100の入口。

おかげさまで月刊島民はなんと今月で100号！
だからこそわかる、中之島を楽しむための100のヒント集。

文／大迫力本誌

水辺編

中之島を特徴づけるのは、何と言っても2本の川に囲まれた風景にある。それが当たり前にあることのありがたみを感じながら、時には特別な存在として捉え直してみると、いつぞや中之島の魅力は増す。

た。ただ、きれいになったとは言え、川で泳いだり水を飲んだりすることはおすすりできない。No.59

【参考】国土交通大臣が定め、河川法によって管理されている川を「一級河川」といし「二級河川」と呼ぶ。複数県をまたぐため、国による統轄が必要な川は基本的に「二級河川」であり、淀川の支流である中之島の川も自動的に「二級河川」となる。

勘違いしがちだが、水がきれいかどうかは何の関係もない。

3【境目】

中之島の東端で大川が堂島川と土佐堀川に分かれ、西端で再び合流して安治川となる。これらの境目はどこにあるのかと考えると気になつて夜も眠れないが、実はこれら河川名はあくまで通称で、法律上では「旧淀川」と総称されている。その通称の境界は橋で、天神橋から船津橋までが堂島川、天神橋から船津橋までが土佐堀川と呼ぶ。では、橋の下は？ などと問うのは無粋というものである。No.59

4【シテイクルーズ】

川をしっかりと眺めたら今度は船

に乗ろう。中之島を中心に、大阪の街なかをゆく「シテイクルーズ」は、ここ数年で一気にメジャーになった印象を受ける。クルーズの種類が増え、観光客だけでなく、大阪の地元の人々も街遊びの一つとして楽しむようになったのではない。

5【パドルボード】

No.4、96

遊泳はおすすめできない中之島の川で、現状最も川を身近に感じられるアクティビティと言えは、2008年に登場後、たちまちブレイクしたパドルボードだろう。水面に浮かぶボードに乗って、パドルを漕いで進む。中之島周辺では「水上さんぽ」の名前で、日本シテイクルーズ協会が実施している。No.58

6【釣り】

「オフィス街でウナギ釣り人気」の見出しが産経新聞に躍つたのは2012年のこと。月刊島民でも実際にチャレンジし、見事に釣果をあげている。ウナギ以外にも中之島の川に棲息する魚は意外に多い。ちなみに、中之島公園内での釣りは禁止。橋の上や川沿いで、船や歩行者の邪魔にならないようマナーを守って楽しむ。小さい魚はリリースするのルールだ。No.16、59

7【橋】

月刊島民では当たり前のように橋を「見る」「愛でる」ことを推奨してきたが、これは決して普通のことではない。川を安全に渡れることが橋に求められる役割なのだから、人々の視線を意識する必要は本来ない。橋の四隅にライオンの彫刻を置かなければならない義務などないのだ。

中之島の橋は美しい。コンペ時に周囲の建築物や風景と調和するデザインを求められた淀屋橋（大江橋）を筆頭に、見ごたえのある橋が多い。また、構造美や機能美などデザインに留まらない魅力の豊富さや、歴史的背景や交通計画における役割などバックグラウンドも多彩。まるで一つの物語世界のように。No.11、29

8【ライトアップ】

中之島の夜の楽しみの一つ。夜景に輝くライトアップは、駅へと急ぐ足がふと止まる。橋のライトアップだけでなく、阪神高速道路の橋脚や

島民「あるある」川柳
詠み手／石原 卓（本誌）



23 昼時に 隣の社食を つまみ食い

大手企業の集中する中之島。どの社食も工夫を凝らしたメニューが秀逸です。意外と一般でも入れるのでぜひお試しください。

「川」そのものを楽しむ。

1【水位】

中之島に来れば人は川を眺めるものだが、まずは流れる水の量に注目したい。日によってかなり水量が違ふのだ。これは堂島川や土佐堀川が「感潮河川」であることによる。中之島のような海に近い平野部によく見られ、潮の満ち引きによって水位はもうろん水流の速度も変化する。No.51、59

【参考】 こうした水位の変化がある

2【水質】

では、川を流れる水はきれいなのだろうか。お世辞にも清流とは言えないが、以前と比べれば水質は大きく改善されている。大阪市の調査結果では、水質がきれいであることの指標であるアユの棲息も確認され



護岸の堤防にまで波及し、もうこれ以上ないのではというくらいまで隅々まで明るくなった。ライトアップは日没から午後11時まで。橋のライトアップが消えると「さすがにもう帰らんと」という気分になる。

No. 29

参考

現在、ライトアップが行われている橋は以下の通り。天神橋・難波橋・鉾津橋・水島橋・大江橋・淀屋橋・中之島ガーデンブリッジ・錦橋・玉江橋・堂島大橋。今年度末までに梅榎木橋が新たにライトアップされる予定。また、中之島ではないが、川崎橋と天満橋でも行われている。



9 水都大阪

ここでは行政や民間企業によって推し進められている、大阪市内各地の水辺の魅力を発信するプロジェクトのことを指す。具体的にはシンボルとなる空間づくりや船着場の整備、護岸や橋梁のライトアップなど。水都大阪フェスの名で、各エリアでさまざまなプログラムも毎

年行われるようになった。

これらの動きの恩恵をもっとも享受してきたのが中之島ではないか。公園がきれいになり、船に乗りやすくなり、夜も美しくなった。これだけインフラが整ったわけだから、それをどう遊ぶのか（流行り？の言葉で言う）と使いこなすのかは我々島民次第である。

No. 4

水辺を活かす。

10 北浜テラス

誰もが思い描いていた水辺の楽しみ方が、やっと日常の光景になってきたと言えきだろうか。土佐堀川に面した店舗が川に向けたテラスを設置。「川を見ながら飲んだり食べたりしたい」という贅沢を叶えてくれている。

2009年、水都大阪での試験実施で3店舗に設置されたのをスタートに、現在では13店舗が参加。イタリアンありカフェあり居酒屋ありと、ジャンルさまざまなターゲットを選ばないところもいい。風景の良さと語られる中之島だが、それを押めるのは実は川の反対側だった。No. 84



11 朝

中之島の水辺の快適さを一番味わえる時間帯は、早朝ではないかと思つている。その意味で、中之島公園でやっている朝ヨガや、川の駅はちけんや中央卸売市場前で開催される朝市などは、とてもいい水辺の活用方法だと思う。

No. 58

「特別」な舞台として。

12 ウェディング



川の存在がとてつもないアドバンテージになり得るということを実感させてくれるのが、ここ数年で中之島の急増したウェディング会場だ。川に隣接した立地で、水辺の開放感を活かした造り。会場によっては船上で挙式を行うプランなどもあり、なるほど見事な川の活用方法だと感心してしまう。

参考

No. 69

現在、大阪のウェディング会場として中之島は「一人勝ち」のような状況らしい。その理由は何だろう。ターミナル駅から近いエリアにあり、大阪らしい水都の雰囲気も堪能できて、なおかつオリジナリティを重視する近年のウェディング事情にもびつたり。日常の風景や、食事や遊びのシーンに川が加わるとそれだけで少し特別な気がするが、その特別感を突き詰めると人生最良の舞台の演出にも使えるわけだ。

橋の話は面白い。

13 淀屋橋

昭和10年(1935)建設。東西どちら側から見ても、背景と共に絵になる存在。とてつもなく北側にある大江橋と同じデザインであることを知っている人はどのくらいいますか？

14 難波橋

大正4年(1915)建設。中之島でもっとも古い橋。二つの川を股にかけ、中之島公園や周辺エリアと上手く接続させているのも見どころ。欄干のライオン像の由来は未だ定説なし。



15 天神橋

歴史ならナンバーワン。現在の橋は昭和9年(1934)に架けられたもので、美しく羽を伸ばしたプロポーションに加え、アーチや橋桁下のトラスの構造美は専門家からの評価高し。

16 渡辺橋

昭和41年(1966)に肥後橋とセットで架け替えられた。一見、地味だが歴史は古い。冬、ここから見る阪神高速の橋脚のライトアップやビル街の夜景は、東西どちらも美しい。

17 越中橋

中之島とは思えない歩行者専用のそつけない橋。しかし、橋とは本来こういうものではないだろうか。昭和4年(1929)完成。意外に歴史の古い倉庫街にとってはなくてはならない存在。

18 鉾津橋

天神祭の鉾流し神事を名の由来に持つ昭和4年(1929)完成の橋。夜に北側から渡ると、ライトアップされた中央公会堂とのマッチングが、レトロモダンな都市美を形づくっている。

19 水島橋

堂島川の水量を調節する可動堰として昭和4年(1929)に完成。名前とアーチの連なるスタイリッシュな見た目がよく似合う。橋桁下に無骨なゲートがちらりと覗くのもいい。

20 錦橋

こちらは土佐堀川の可動堰。昭和6年(1931)建設。細部の意匠は伊藤正文という建築家によるとされ、そこからインターナショナル・スタイルという建築史の一断面に触れられる。

21 堂島大橋

鋼のアーチが目目を惹くかと思えば、橋詰めはどっしりした石造りの古典様式。果たしてその完成は昭和2年(1927)。新しいのか古いのかわからないが、我が道を行く姿に威厳が溢れる。

22 端建蔵橋

中之島の橋でもっとも読み方が難しい「はたてくらべし」。さておき、北側の船津橋やすぐ東の湊橋と船津橋と共に、中之島西端の物流をうまく捌く縁の下の力持ちたち。

24 田蓑橋 園児のさんぽ かわいいな

中之島周辺に意外に多い保育園の園児が午前中に散歩を楽しんでいます。大きな乳母車に乗せられていてかわいい。癒されます。



歴史編

今に続く土地の記憶。

25 蔵屋敷



そこら中に石碑があることからわかるように、江戸時代の中之島には蔵屋敷が建ち並んでいた。単なる倉庫と思われがちだが、知っているようで知らないものの代表がこの蔵屋敷かもしれない。西日本の諸藩が地元で生産した米や特産品を貯蔵・販売し、自給できない物資を調達するための出先機関でもあった。また、参勤交代などで大坂を訪れた際の宿舎になるなど、意外に求

歴史の話それ自体は、日本史の年号暗記と同じで、知識だけでは意味がない。それを知ること、私たちの側の何かが変わらなければつまらない。今の中之島を楽しむ視点の二つとして、「かつて〇〇だった」歴史を紐解いてみる。

められる機能は多岐にわたっていたのだ。

それが明治時代に入ると、廃藩置県を機に大阪府によって没収される。政府や民間の倉庫として引き続き転用されたりもしたが、壊されて敷地に新しい建物が建つ場合も多かった。一つ一つの敷地はやはり広いので、必然的に大きな区画となる。そうすると使い道は自ずと定まってくるもので、公共施設やそれに近い機能を持った企業、工場など。区画の大きさは現在も維持されており、中之島が現在の姿になったのは、蔵屋敷の時代から運命づけられていたというのは言い過ぎか。ただ、区画が大きい分、土地の履歴がさかのぼりやすく、かつてここに何があったかを追いやすのは面白いと思う。No.32、54

26 学校

蔵屋敷の跡地利用として、特に中之島の西部で目立ったのが学校だった。例えば、明治10年（1877）、久留米藩屋敷跡（現中之島4丁目）に新設された大阪府師範学校。現在の大阪教育大学の前身である。当初はもう一つ、大阪府第一番中学校も同じ敷地に建っていたようだ。こちらはその後、改称・移転して現在の北野高校へとつながる。

その他、後に関西大倉中学・高校となる大阪大倉商業学校や、前述の大阪府師範学校の女学科から独立する形で創立し、何度かの改称を経て誕生したのが大阪府女学校。堂島

浜へ移転し、これが戦後になって府立大手前高校となる。大阪きつての名門公立校は、実は中之島にルーツがあり、しかも女学校だったのだ。明治時代のこの手の話は切りがないのだが、中之島周辺に大学のサテライトキャンパスが集中していたことや、学びに関する施設や企画が多いことと合わせて考えると、なるほど歴史というのは繰り返すものなのかもしれない。No.12

27 大阪大学

一番中之島との関係性が深いのはやはり大阪大学だろう。医学部と理学部からなる大阪帝国大学が誕生したのは昭和6年（1931）のことだった。その原点は天保9年（1838）に緒方洪庵が開いた「適塾」にあるとし、洪庵の息子や弟子たちが明治新政府と共に創設した



大阪仮病院や大阪医学校が、多くの変遷を経て大阪帝国大学へとつながった。中之島に移ってきたのは明治12年（1879）、大阪公立病院と名前を変えた時のこと。広島藩の蔵屋敷跡に病院を新築した。対岸にあった大阪病院も合わせ、中之島に大阪大の記憶は根強い。現在も大阪大学中之島センターがあることを思えば、130年以上にわたって阪大は中之島に拠点を置いていることとなる。No.12、51、56

そう言えば大阪市は、中之島センターの西隣の敷地に大学を誘致する計画を発表していたが、あれはどうなったのだろうか？「中之島ふらふら青春記」の久坂部羊さんの時代とは違っても、中之島に大学のキャンパスなんてとてもいいと思うのだが。

28 ホテル

中之島は明治維新以降の近代的な街づくりの中で、迎賓館としての役割を担ってきた。明治14年（1881）に中之島公園に「自由亭ホテル」が開業。長崎がルーツの西洋料理店「自由亭」が、交流のあった五代友厚の大阪赴任をきっかけに開いた。その洋館部分を改築したのが明治28年（1895）の「大阪ホテル」。電燈とスチーム暖房完備、英語を話す従業員もあり、大阪で唯一外国人が宿泊できるホテルだった。しかし、その後、不幸にも2度にもたつて火事に見舞われ、大正時代末期に閉鎖してしまう。

周辺エリアとの関係性の変化。

29 大阪城・船場

江戸時代の大坂の中心軸は、城から城下町である船場～大阪湾を結ぶ東西ライン。そう意識すると、中之島は船場の北の端にあり、中心部にほど近い未開拓地として利用やすかったことがわかる。また、ターミナルとしての八軒家の位置関係も際立ってくる。

30 堂島・北新地

中之島に続いて開発された堂島は、米市場があったことなども踏まえ、街の機能としては中之島とセットで考えられるべき。そこで働く人々が遊ぶ場所として、北新地＝北の新地が発展した。ここでも、街の中心だった船場との位置関係が働いている。

31 川口・江之子島

現在は同じエリアという感覚はあまりないかもしれないが、東西のラインを意識すると、中之島とは目と鼻の先のような関係であることがわかるのでは。これら安治川の河口エリアを経て、海とのつながりは今よりもずっと深かった。地図を見直してみよう。

32 梅田・福島

一方、今では連なったエリアで捉えられることの多い梅田・福島だが、明治時代以前はあまり結び付きはない。両エリアの発展が近代以降ということも理由だが、あるエリアをキタやミナミとの位置関係から捉える方法が比較的新しいものであるとわかるだろう。

38 フェス前の 溢れる人を 羨んで

夕方や夜に大量に人々が歩いていたら、フェスティバルホールで何か楽しいことがあった証左。こちらは残業中なのに羨ましい。

37 もう一度読みたい中之島論①

「水の都」とは 何なのか？

野高宏之(大阪市史編纂所・大阪市史料調査会)

現在の大阪市域は、古代には「畿内(五畿内)」と呼ばれていました。そのうちの和泉・河内・摂津はすべて大阪湾沿岸。都のあった京都・奈良と肩を並べる国家の中心として位置づけられていたということです。その理由はやはり海に面していたから。港を持たない京都や奈良の「外港」として機能していたんですね。ですから、「大阪」という言葉を大阪湾沿岸から淀川流域と捉えれば、大阪は常に「水の都」であったと言えるでしょう。

江戸時代に入ると、少しあり方が変わってきます。幕府が江戸へ移ったとはいえ、産業は近畿地方が圧倒的に先進地域。そこで幕府は大坂に物流拠点としての役割を与えます(この場合の大坂は、中之島を含む淀川の河口にかけての一带とお考え下さい)。

と言っても、すぐに中之島周辺に蔵屋敷が建ち並び始めたわけではありません。一番に行われたのは大坂城の再建、そして城下町＝街場の再建でした。そのための木材は中国地方や四国の土佐から、木津川を使って運んできました。したがって、最初に各藩の屋敷や蔵が建ち始めるのは木津川の流域(現在の西区・中央区西部周辺)でした。

ここでようやく中之島が登場します。手つかずだった中之島に、各藩の蔵屋敷が建てられていきます。年貢米あるいは時代が下れば特産品などが集められ、必要とあれば出入りの商人に頼んでお金に換えてもらうのです。

江戸時代後半になってくると全国各地で商品経済が発達してきますから、わざわざ大坂へ持って来なくても良い。それでもなお中之島周辺に建つ蔵屋敷の数は増え続けた。それには「大名貸し」といって大坂の商人たちが米や特産品を担保に気前よくお金を融通してくれるからという背景がありました。

江戸時代はお米を中心とした経済です。その意味で、対岸の堂島米市場とセットにして、中之島そして蔵屋敷は大坂を象徴する存在と言えます。大坂の街には運河が張り巡らされ、八百八橋と数えられるほど多くの橋が架かっていました。そのような光景が「水の都」と呼ばれ、中之島はその象徴として機能してきたと言えるでしょう。

●月刊島民 第4号(2008年11月)
「『水の都』って何だ?」より抜粋
※野高氏の肩書きは掲載時のもの

33【淀屋常安】 あなたのおかげです。

苗字も名前もどちらも橋の名前になっている人物など、他にいるだろうか? 腹の生い茂る中洲だった中之島に最初に目を付けたのがこの人だった。17世紀の最初期に現在の北浜4丁目あたりで材木商を営んでいた常安を初代とする淀屋は、中之島を開発し、幕府に願ひ出て米市を開くことにした。舟運の発達していた大坂に物流拠点をつくるなら、川に囲まれた中之島のような場所

No.44, 69
それでも中之島とホテルの縁は途切れない。昭和10年(1935)に開業した新大阪ホテルは、ご存じリノイアルホテルの前身である。2012年には三井ガーデンホテル大阪プレミアが開業。そして来年度には中之島フエスティバルタワーウエストに、西日本初進出のコンラッド大阪が誕生する予定だ。



な場所では打ってつけと考えたわけだ。自らの屋号が名前となる淀屋橋を自費で架けたのも、中之島への開発を促すためだったのだろう。そして目論見通り、中之島には米市に集まる米を貯蔵するため、諸藩や商人たちの蔵屋敷が建ち並んだ。常安はじめ淀屋の成功の背景には、不正の横行していた当時の米取引に対する人々の不信感などもあったのではないかと。このあたりの真相

34【豪商】

No.6, 86
朝の連続テレビ小説で注目を集めた、江戸時代の大坂で財を築いた大商人たち。地方から中之島の蔵屋敷に集まる物資を足がかりに、諸大名や幕府の元へ通って取引すること「家」を大きくしていった。民

35【緒方洪庵】

No.21, 86
医師・蘭学者。父の仕事の関係で来た大坂で蘭学・医学を学び、長じては天保9年(1838)自ら私塾「適塾」を開く。福沢諭吉、大村益次郎ら適塾に学んだ青年たちのその後の活躍は余りにも有名だ。現在も適塾の建物は史蹟として残り、大阪大学は医学部系のルーツを適塾に求めている。また、「除痘館」を開いて天然痘のワクチン接種を広

間資本を投入して経済の活性化に貢献した。天下の台所の影の主役とも言える。
ある住友家や三井家も最初から巨万の富があったわけではなく、新しい技術や商売を発明したり、大名でなく庶民との商売に重点を置いたり、その十人十色のサクセスストーリーが面白い。現在では、その生き方にビジネスのヒントを見出す研究も進められている。

36【懐徳堂】

No.27
江戸時代の大坂の私塾と言えは、懐徳堂を忘れてはいけない。享保9年(1724)、「五同志」という商人たちが、経済状況の悪化に直面し、商人にとっても学問の必要性を感じて創立した。その学風はリベラルで知られ、個性的な学者を何人も輩出した。産学連携を推進する大阪大学21世紀懐徳堂や、ナカノシマ大学も参加している21世紀の懐徳堂プロジェクトがその名を冠して、街場で学ぶ気風を受け継ごうと試みている。

め、天然痘の撲滅にも大きく貢献した。No.6, 43, 56, 72
懐徳自身は青年期に中天津という町人学者の私塾に学んでいるが、江戸時代の大坂における科学や天文学のレベルはかなり高かったという。つまり、懐徳の思想・学問は先達の研究が花開いたものとして捉えることもでき、懐徳の人生や適塾に興味を持つことは、幅広いジャンルにつながっていく。

39 アバンザ前 ほっと一息 空見上げ

堂島アバンザのモニュメント前は癒しの空間です。1日中いてる窓際族なんかも存在します。スカッと空が見渡せるポイントですね。





41 岩本栄之助
 青年実業家としてアメリカを視察に訪れ、多くの市民が集まれる場所の必要性を感じた岩本栄之助。帰国後、株の仲買人として築いた私財100万円を、公会堂建設のために寄附した。ところが、建設工事が行われていた最中に岩本は株相場で大きな損失を出してしまふ。そして、「その秋をまたで散りゆく紅

42 辰野金吾
 現在、中之島で見られる建物を古い順番に並べると、日本銀行大阪支店、大阪府立中之島図書館、大阪市中央公会堂となる。この3つすべてに関わる建築家と言えは辰野金吾である。日銀には設計者として、図書館には設計・施工を行った住友臨時建築部の顧問として（あるいは設計者・野口孫市の師匠として）。また、公会堂は設計コンペの顧問であり、実施設計の際にも関わっている。従って、大阪の建築史を紐解けば、中之島を振り出しに必ずと言っていいほど辰野の話から始めることになる。

辰野の功績はいくつも挙げられ

42 辰野金吾

現在、中之島で見られる建物を古い順番に並べると、日本銀行大阪支店、大阪府立中之島図書館、大阪市中央公会堂となる。この3つすべてに関わる建築家と言えは辰野金吾である。日銀には設計者として、図書館には設計・施工を行った住友臨時建築部の顧問として（あるいは設計者・野口孫市の師匠として）。また、公会堂は設計コンペの顧問であり、実施設計の際にも関わっている。従って、大阪の建築史を紐解けば、中之島を振り出しに必ずと言っていいほど辰野の話から始めることになる。



40 五代友厚

朝ドラの人氣で一躍脚光を浴びたこの人の尽力がなければ、大阪は（あるいは日本も？）今の姿にはなっていない。中之島には五代が設立を促した大阪通商会社と為替会社があり、北浜の大阪株式取引所（現大阪取引所）や堂島にあった米会所など、周囲にも関連する場所を多く持つ。とはいえ、「大阪の恩人」と呼ばれる五代のこと。他の街でもすぐに五代マップができるかもしれない。No. 6、92

43 関
 「シティ・プランニング」という言葉と共に、都市計画の重要性を日本に普及させたのが第7代大阪市長の関とされている。関が主導した御堂筋の拡幅や地下鉄御堂筋線の設置により、大阪の軸は江戸時代以来の東西から南北のラインへと一気に変わった。関は「公館街」と呼んだ中之島から難波までを結び、大阪の中心にしようと考えた。現在の私たちにとって自然な「中之島はキタとミナミの中間にあつて」という空間認識は、実は関のシティ・プランニングによるものだったのだ。東洋陶磁美術館の目の前に建つ関の銅像は、もちろん御堂筋の方角を向いている。No. 6、41、65

43 関

「シティ・プランニング」という言葉と共に、都市計画の重要性を日本に普及させたのが第7代大阪市長の関とされている。関が主導した御堂筋の拡幅や地下鉄御堂筋線の設置により、大阪の軸は江戸時代以来の東西から南北のラインへと一気に変わった。関は「公館街」と呼んだ中之島から難波までを結び、大阪の中心にしようと考えた。現在の私たちにとって自然な「中之島はキタとミナミの中間にあつて」という空間認識は、実は関のシティ・プランニングによるものだったのだ。東洋陶磁美術館の目の前に建つ関の銅像は、もちろん御堂筋の方角を向いている。No. 6、41、65

るが、普通の市民にとって最も大きな意味を持ったのは「建築」というものの素晴らしさを広めたことではないか。中央公会堂にその片鱗が見られるが、辰野の得意とした赤煉瓦に白い帯を巻いた華やかスタイルは「辰野式」と呼ばれた。人々が西洋建築を見たことも聞いたこともない時代に、わかりやすい形で建築の持つ力を示した辰野の影響力は計り知れない。No. 2、57、99

いくつ覚えてる？ 中之島ウンチク。

44「中の島ブルース」のルーツ。

元は秋庭豊とアローナイツという北海道のグループの持ち歌。歌の舞台もすべて北海道だったが、メジャーデビュー時に大阪と長崎を追加。後に人気グループのクール・ファイズが唄ったことで大ヒットした。

45「水の都」の名はいつから？

初めて出版物に登場したのは100年ほど前で、明治41年（1908）に出版された『児童叢書おほさか 地理の巻』という本だとされている。耳にタコのフレーズの初出はなんと児童向けの大阪案内だったとは。

46 西日本初の洋花専門店がある。

昭和3年（1928）に創業、現在は中之島ダイビルに店を構える「サトウ花店」。ホテルでのパーティー需要やビジネスの潤滑油としての人気をきっかけに、洋花文化の定着に大きく貢献した。

47 福沢諭吉の塾生時代。

1万円札の肖像画の人だけに、さぞ品行方正？ とんでもない。適塾生時代には、中之島の川をゆく船で遊ぶ金持ちに橋の上から小皿を投げつけたりと、なかなかのあらくれ書生だったよう。

48 かつての天神祭の舞台。

現在の船渡御は大川を上るが、昔は違った。江戸時代初期には難波場のあった京町堀に御旅所があり、次いで川口、明治に入ると松島に移る。そのため船の行列は堂島川を行き交い、中之島全体がお祭りムードに包まれた。

49 日本初のビアホール。

明治30年（1897）、大阪麦酒会社（アサヒビールの前身）が中之島公園に夏限定のビアホールをオープン。その2年後には日本初の本格ビアホール「アサヒ軒」を大江橋南詰めに開店した。

50 軍艦「最上」のマストがあった。

昭和3年（1928）の廃船の翌年、在郷軍人大阪連合会によって「最上」のマスト部分が中之島の剣先公園に設置された。功績を讃えるのが目的だったらしいが、中之島を船に見立てたのが面白い。現在は呉市海事歴史科学館が収蔵。

51 かつて厳島神社があった。

あの安芸の宮島の？ その通り。と言っても江戸時代の話。広島藩屋敷の数地内に、本藩から勧請された厳島神社があった。広島藩だけではなく、中之島の蔵屋敷には、そうした各藩ゆかりの神社がたくさん建てられた。

52 前衛芸術の発信拠点があった。

画家で中之島の邸宅にあった吉原治良は、前衛美術家の団体「具体美術協会」を結成。吉原は所有する土蔵を改装して展示施設とし、「グタイピナコテカ」と名付け、国内外のアートを発信した。

53 知られざる中之島芸能センター構想。

中之島4丁目に5つの劇場を持つ巨大センターを建て、伝統芸能からコンテンポラリーアートまで、あらゆる芸能を発信するという計画。実現はしなかったが、経済界・文化界を巻き込んだ大論争が起こった。

61 給料前 近くて遠い 北新地

四ツ橋筋を超えるか超えないか……。大いに悩むのが給料前。ささと帰れないお父さんが桜橋あたりでウロウロおられます（笑）



建物編

ザ・中之島御三家。

54 大阪府立 中之島図書館

1世紀以上を経た建物が、当初と同じ機能のまま使われ続ける例は、日本ではあまり多くない。その一つがこの図書館だ。とはいえ、古いからすごいではなく、ここ最近はずいぶん多い。2期にわたるリニューアル工事を経て、外装は美しくなり、正面玄関から入れるようになった。何より大きな変化はカフェ「スモロー・キッチン」が館内にオープンしたこと。ゆっくり過ごせるスペースができたことで、建築の良さを体感できるチャンスが増えた。その他、文房具や書籍などを扱うショップができたり、貸し館を始めたりと、訪れる人を歓迎する姿勢は確実に中之島に足を向ける人を増やすだろう。No.7、49、63、82、94

55 大阪市中央公会堂

こちらも昨年はニュースが多かった。6月にレストランがリニューアルし、「中之島ソーシャルイートアウェイク」がオープン。また、9月には念願だった「公会堂SHOP」もできた。

2018年に開館100周年を迎える中之島のシンボルだが、館内に入ったことがないという人も意外に多いという。「公会堂SHOP」では、今後オリジナルの商品を増やしていきたいそうで、期待したい。

街を実際に形づくっているのは、ビルなり公共施設なりといった建物である。中之島の場合、訪れて楽しい、見て面白い場所の種類がとても豊富。その場その場に応じて見方を変えられれば、さらに楽しめるはずだ。



56 日本銀行大阪支店

中之島に建つ建築の中で最も古いのが日銀大阪支店だ。そのうち、御堂筋に面して建つクラシックな

今や建築の楽しみ方は外から写真を撮れば満足ではなく、お土産を買ったり、「こんな体験ができる」というところまで求められる時代になっている。No.2、17、57、83

外観の建物が旧館、その後ろが新館である。一見、近寄りたがたい雰囲気があるが、見学を機会を広く設けているのが素晴らしい。平日の午前と午後の2回、約1時間20分をかけて、旧館の建築の魅力や日本銀行の役について学ぶことができる（※見学は要事前予約）。建物の性格を考えると、これだけきちんと見学のシステムを整えているのはすごいことだと思ふ。2012年、130周年の際には詳細なパンフレットを作成するなど、ホスピタリティに溢れている。No.2、38、99

ミュージアムは偉い。

57 国立国際美術館

全国に5館しかない国立美術館の一つがあることを、中之島はもつと誇ってもいいのではないか。ルーツは大阪万博の会場内に建設された万国美術館。現代美術に特化した作品や美術館を好きになつてもう人口であることを心がける。ルノワールやゴッホなどの古典作品もやって来るのは、それらを現代美術の出発点を位置づけているから。同時に現代作家の展覧会も開催することで、ファンを増やそうという狙いもあるそうだ。No.22

58 大阪市立科学館

天文学・化学・物理学について、展示を通して体感しながら楽しく学ぶことができる。子供だけでなく、大人になつても通い続けるリビーターが多いのも特徴。プラネタリウムのライブ解説、サイエンスショー、星の観望会、学芸員の方々が面白がっている様子が目に浮かぶアイデア満載の企画など、手作り感と「顔が見える」雰囲気がその秘訣か。こうした施設にも大阪らしさというものはあるのだと実感する。No.22、43、72、73、79

59 大阪市立 東洋陶磁美術館

こういう専門的な美術館の存在は街を豊かにしてくれていると思う。中国・韓国陶磁を中心とした所蔵品は約4000点。うち国宝2点、重要文化財13点。その多くがかつてあった商社の安宅産業のコレクションだった。同社の経営破綻によって散逸の危機を迎えるも、メインバンクだった住友銀行ほかの企業が引き受けて大阪市に寄贈し、開館へとつながった。No.22、28

大阪の町人文化うんぬんを語る時によく出てくるのは、同じく中之島の中央公会堂や、住友家が建設費や蔵書購入費を寄附した中之島図書館ばかり。ぜひこの東洋陶磁美術館の逸話を合わせて、中之島3大ダンナ話として語り継ぎたい。

60 大阪新美術館

中之島にできると言われ続けている美術館。ホームページを見ると、「大阪新美術館計画略年譜」があり、その始まりは昭和58年（1983）。年譜ができるというのすごいのが、かれこれ30年以上議論されているわけだ。平成32年度の開館に向けて新美術館整備方針に基づき準備を進めているという。No.22、81

参考 開館が近づけば、おそらく今の大阪に美術館は必要ないといった議論がまた起こるのだろう。美術館の問題はそこに住む人々が都市に抱くイメージの問題でもある。美術「ムタ遣い」となるのは大阪の人が大阪に対して誇りを持っていないわけではないという橋爪節也氏の指摘（P.8）は至極もつともである。

62 バラ園で 上司とふたり 怒られる

昼間はサラリーマンを多く見かけます。見積書の話とか納品の話携帯電話でやっておられます。ご苦勞様です。



66 もう一度読みたい中之島論②

美術館建設計画と街の誇り。

橋爪節也(大阪大学総合学術博物館教授)

私は日頃から「中之島は大阪の盛り皿である」という説を唱えている。もしくは陳列場(シヨールーム)と言っても良い。

古くは蔵屋敷、近代以降は役所、ホール、病院、ホテル。これらの共通点は、常に人が集まってはまた去る流動性があるということ。また蔵屋敷の系統で言う「貯め込む」という特徴もある。図書館、日銀、情報を集める新聞社がこれに当たる。ただし、これも動かす・発信するための一時的なストックと考えれば同じことと言えるかもしれない。中之島というのはいろんなものが来て出ていくという性格を持っている。

中之島に「大阪市立近代美術館」(※当時の呼称)を建てるという構想自体は古くからあった。1990年の秋に、市政100周年記念事業とすべく、準備室も充足した。あの場所にはかつては大阪大学医学部があり、商業ビルなどではなく文化施設を建てるという条件で大阪市が国から土地を買っている。その後、土壌汚染の問題や広島藩屋敷の遺構が埋まっているといった話が持ち上がりなかなか計画が進まなかったが、建たない理由としてはやはり土地を取得したバブル期以降の経済状況の悪化が大きい。

行政の責任と言うよりは、大阪の街に美術館を求める切迫感がない。現状から言うブランドがありすぎる。もし20年前に建ていたら、大阪の人たちの志向性も変わっていたはずだ。そうこうしているうちに「大阪というのはもともと文化が無い街や」といった雰囲気が増殖してくる。そうすると「なんで美術館なんかいるの?」ということになってしまう。

ただ、そろそろ「20年も建たなかったことでどれだけ損をしているのか?」という方向へ頭を切り換えた方が良い。かつての大阪は中央公会堂ができ、ダイビルができ、朝日ビルができて発展していく中で、人々が大阪に対して誇りを持っていたし、そうした立派な建物は商人の街としてのステータスだった。自分の住む街を大大阪と呼んだこの時代の人たちなら、美術館を熱望したはずだ。美術＝ムダづかいとなるのは大阪の人が大阪に誇りを持っていないということじゃないか。そちらの方が深刻だ。

●月刊島民 第22号(2010年5月)「『大阪市立近代美術館(仮称)』から見えてくるもの。』より抜粋

ランドマークを味わう。
63(中之島) フェスティバルタワー
すごい建物である。真ん中に柱のない(一)巨大音楽ホールがあり、その上に高層タワーがそびえているのだから。建築家の高岡伸一さんは、「ケーキの箱の上にベクトルポトルを載せるようなもの」と評したが、言い得て妙である。だからこそ、ホールを含む低層部と

高層部のタワーとの切り替え階である13階において「メガトラス」が見られるのは嬉しい。これこそ高層タワーの加重を外に逃がす役割を果たす切り札。中間階に柱がなくとも、しっかり建物が建っているのはメガトラスのおかげ。そして、いよいよ来年、西側に中之島フェスティバルタワー・ウエストが建つ。No.41, 52, 94, 99
参考 施工を担当した竹中工務店によれば、日本最高峰の現場溶接技術を誇るべく、メガトラスはあえて溶接部の削り仕上げをしていないそうだ。こういうプライドや、

それを許す施主の度量には拍手を贈りたい。数々の名建築が建てられてきた中之島は、建設会社にとつてのいわば晴れ舞台なのだ。
64(ダイビル本館) 中之島きつての名建築は、一時間館を経て、2012年に再オープン。その姿に多くの人は息を呑んだ。大正14年(1925)の竣工時に生まれ変わったかのように、当時の雰囲気を残したまま新しくなっているからだ。そのため施工に当たった大林組は、煉瓦や石を解体時に改修し、再利用できるものを職人



が選別し、洗浄・補修を行った。単純にきれいにするのはなく、エイジング加工も施すなど、「そこまでやるか!」と舌を巻く完成度だ。そのように低層部では歴史を継承しつつ、高層のタワーを組み込む最先端のオフィスビルでもあるところがまたカッコイイ。古いように見えて新しい。そう言えば中之島は、いつの時代も常に更新されていく街だった。No.14, 41, 62, 99
65(中之島バンククス) 堂島川の河川敷、玉江橋から堂島大橋までの間に広がる中之島バンククスは、国土交通省の指定する「社会実験区域」。河川敷は公共空間であるため、普通は民間企業が施設や店舗を建てるなどして占有することはできない。それが特例として認められることになり、2010年に運営会社が設立された。以来、デザインをテーマにしたミュージアムといった挑戦的なスペースや、水辺のロケーションを活かしたカフェやレストランなどができた。
発表 今年9月、アウトドアブランドの「Paragonia surf outlet」がオープンするなど、全面的にリニューアルを果たした。その模様は次号特集にてお届けするので、ぜひチェックしてほしい。

77 大江橋 横切るチャリに 舌を打ち

自転車ブームみたいですが、危ない運転も散見。事故でも起こされたら営業マンは困るのですよ。納品が遅れるのですよ。



鉄道編

鉄道は今や一つのエンターテインメントのようになっていて、中之島を走る京阪電車もまた、中之島を楽しむためには欠かせない。

67【京阪電車】

明治43年（1910）に天満橋、五条間を結ぶ鉄道として開業。その後、昭和38年（1963）に淀屋橋へ、平成元年（1989）に出町柳へ延伸した。2008年には、天満橋から中之島を結ぶ中之島線が開業。月刊島民が創刊するきっかけも、この中之島線誕生だった。

No. 26、50、95

68【中之島線】

天満橋駅から西へ、なにわ橋、大江橋、渡辺橋、そして終点の中之島と4つの駅がある。ホームの対向壁にそれぞれの駅のイメージに応じた素材が使われているのは見どころの一つ。周囲に近代建築の多いな

にわ橋はテラスコッタ、日銀大阪支店に最寄り。大江橋は石、タワービルの風景と共にある渡辺橋はステンレスときて、中之島は木である。

No. 3、50、95

なぜ木なのか？

木材を地下路線の駅で使用するケースはとて珍らしい。そもそも木には耐火性やメンテナンスの問題があり、使われにくいのだ。その中であって中之島駅では不燃性の木材を採用し、傷の補修や落書きを消すといった懸念事項もクリアしている。「古くて新しい」という意味で、実は中之島にふさわしい素材だったのだ。

また、地下である心を感じさせないよう、採光にも心を砕いている。なにわ橋では地下1〜2階を吹き抜けにして開放感を出し、集光器で自然光を照射する。また、大江橋ではタクトから取り込んだ地上の光をクラッシュガラスで反射させている。

69【8000系】

沿線はもちろん、関西や東京にもファンの多い京阪電車。その理由は何と言っても先進の技術とサービス精神に溢れる魅力的な電車の数々だ。その象徴と言えるのが京阪特急、今なら8000系エレガントサルーンだ。前面展望に優れる先頭車両、座り心地にこだわ



70【洛楽】

つたクロスシートにハイバック式のロングシート。ダブルデッキ（2階建て車両）も上下階で個性が異なる。No. 50、95

かつての特急は「京橋から七条までとまりません」だったが、2003年以降は停車駅を増やした。しかし、ノンストップを懐かしむ声は根強く、2011年秋に「洛楽」の名で復活（京都ゆき臨時便）し、今年春からは土・日・祝日の定期便となった。No. 50、95

71【プレミアムカー】

来年度デビュー予定の特別車両。特急車に組み込まれ、座席指定で混雑時や途中駅からも確実に座れるのが特徴。料金やサービス内容は未定だが、専属アテンダントが乗務するといひ、サービス重視の京阪電車がどんな手を打ってくるのかとても楽しみだ。No. 95

72【5000系】

京阪の普通列車もまた個性的だが、どれか一つ挙げるとするなら、何と言われようとも5000系である。ラッシュ時は座席の一部を天井部へ上げて5扉になるという奇想天外な構造、はね上げ式吊り手に冷房を行き渡らせる回転グリなどディテールも多彩だ。自由なアイデアとそれを実現させるだけの技術力、京阪電車の真骨頂だ。No. 50、95



平日の朝9時54分に中之島駅2番ホームに着く電車だけは、5000系の5扉→3扉の切り替えの様子を間近で見られる。天井から座席が下りてきて、あつという間に変身。中之島駅の隠れた名物だ。

73【整列乗車】

淀屋橋駅では、特急乗車の際に整列乗車を実施しているが、一風変わっている。降車客が降りた後、一旦扉を閉め、乗客の待つ整列位置まで数メートルだけ再び前進させる。これによりホーム上での混雑を緩和することができるといふ。タミナルとしては幅が広いわけではない淀屋橋の弱点を機転で克服する、京阪らしいやり方だ。

74【中之島駅ホーム酒場】

前代未聞のイベント「中之島駅ホーム酒場」が開催されたのは今年の6月のこと。なんと中之島駅のホームとそこに停めた電車の中を「居酒屋」にしてしまったのだ。各車両にビールやおでんなどを売る店が並び、座席などに座って楽しむ（中には開け幕席や野点席も！）。会場となった3番ホームは現在使われていないためこんなことができるのだが、それでも1・2番ホームは通常通り電車が発着している



るわけで、ただことではない感はずごかった。その分、来場者には大好評。4日間の開催で7000人以上の来場者を集めた。今後は毎年恒例のイベントになる可能性もある。

75【おけいはん】

淀屋（橋）・京橋・森小路・樟葉・中之島・出町柳。これまでに「おけいはん」を輩出（？）した駅名だ。京阪ユーザーにはすっかりなじみ深いイメージキャラクターのおけいはんは、現在の出町柳けい子で6代目。月刊島民の裏表紙にも毎号登場しており、編集部と同じようにどんな衣装でどこへ出かけているのか、楽しみにしている人は多いはず。No. 5

76【アートエリアB1】

京阪なにわ橋駅構内にある、文字どおりのアート空間。他の追随を許さない独創的なセンスとキュレーションで、鉄道駅の中という立地を存分に活かした発信を続けている。現在開催中の「鉄道芸術祭」（P17）などはその真骨頂で、鉄道とアートが「こんなアリか」というレベルで結びついている。No. 67、83

78 便利だね 京阪乗って 西東

中之島エリアの東西移動に革命をもたらした中之島新線。京橋とか天満橋へのアクセスが飛躍的に良くなり、



スポーツ編

公園へ行く。

79 [中之島公園]

明治24年（1891）に大阪市で初めて誕生した公園という肩書きを、どのくらいの人々が実感できるだろうか。水都大阪2009開催時に再整備工事が行われたあたりから、ビアガーデンやカフェタイニングのオープン、バラ園のリニューアルなどが相次いだ。水都大阪フェスを



80 [中之島バラ園]

昭和55年（1980）に開園。約30年後の2009年に全面的に改修された。川とビルに囲まれたバラにとって過酷な立地を克服するための工夫や、立体的な演出法でバラファンの評価は高い。バラの品種改良や流行の歴史がわかる面白い花壇もある。No.10、26、70

参考 中之島にバラ園ができた背景には、高度経済成長期以降、全国で見られたバラ園ブームが下敷きになっていると言われる。実はこのバラ園ブームの先駆けが、ひらかたパークで昭和30年（1955）に開園し

中之島を行き来する人たちにとってはなじみ深いスポットにこそ、楽しみ方のヒントがある。それと同時に、街が変わっていく時の兆しもまた、そんな「いつもの場所」の中から生まれてくるものだ。

観光的街歩き。

81 [屋上]

OMビル（左写真）や大阪役所では屋上に上がることができるが、屋上を開放している例はほとんどなくなってしまった。ただ、眺めるだけでもけっこう面白いものである。緑化されたいたり、変わった形の建屋が乗っかっていたり。小さな鳥居が見えることもある。屋上と言えど夏のビアガーデンだが、年々開始時期が早まっているように思うのは気のせいだろうか？ No.73



82 [地下街]

ビルの上だけでなく下にも注目。小さな店舗の並ぶ商店街のような地下街があったりする。多いのは喫茶店やランチがメインの食事処、弁当やパンを売る売店といったところ。書店や理髪店、紳士雑貨を扱う店は最近減ってきたか。「中之島六番街」などと名前が付いているところを見つけると、つい嬉しくなっ

しょう。No.5、68

83 [カフェテリア]

新しいビルに多いのが、カフェテリアのあるフロアを設けているケース。もちろん入居者向けのサービスなのだが、ビル外からの客が入れないわけではない。最近では競争が激しいのか、「薬膳料理フェア」など企画に工夫を凝らしたり、寿司職人が握るイベントデーや、新規開店するラーメン店チェーンとのタイアップなどもあって多彩で面白い。ややリースナブル（編集部調べ）なのもいいところ。ちょっとした観光気分で見えてみては。No.68

島民の定番。

84 [graf]

代表の服部滋樹さんは以前のインタビュで、中之島に拠点を移した理由として、「時代のグラデーション」が見られることを挙げていた。中央公会堂のようなレトロな近代建築と大阪国際会議場のようなハイテクな建物が混在し、それぞれが建てられた時代を象徴している。時代に合わせて明快に答えたラディカルさを秘めたものが並び立つ風景の中でこそ、文化は育つ。そこに身を置きたいと考えたというのだ。中之島という土地が発するエネルギーを、最も敏感に捉えた発言かもしれない。grafによるさまざまなクリエイティブワークが、中之

島というフィルターを通して生まれたものかと考えると面白いではないか。No.35、42

85 [リバーサイドビルディング]

一見、ごく普通のこじんまりとしたオフィスビルがこのほど登録有形文化財（建造物）に登録されることになった。竣工は昭和40年（1965）と申請の要件を満たしたばかりであり、この時期の建物が登録されることはとても珍しい。前々から専門家の評価は高かったが、一般的にはそれほど価値のわかりやすいビルとは言えない。にもかかわらず、戦後のオフィスビルの典型であることを理由に登録されたことは、「画期的だ」という声も挙がっている。No.2、71、98



99 難波橋 ライオン探し 遅刻する

島民を読んでいると、橋を観察しないといけな気持ちに。あの大きなライオンに気づかない人もいるんです。マジで。



87「イルミネーション」

OSAKA光の饗宴のコアプログラム、中之島を舞台とするイルミ



今年8月の開催で第4回目を迎えた新定番。大阪国際会議場の1階プラザに櫓を組み、河内家菊水丸さんを迎えて大盆踊り大会をやるという、中之島らしいスケールの大きな夏祭りだ。中之島周辺の名だたる企業が参加し、この日はスーツではなく浴衣で楽しむのがお約束。そんな中に、最近増えてきたマンションに住む家族連れの姿が混じる光景は、今の中之島の様子を象徴しているかのようだ。No.61

86「中之島なつまつり」

「1サイド」というサロンがあった。そこには粋な男女が集い、クルーザーで乗りつるというたお洒落な遊び方をしていたらしい。何の変哲もない場所も、目をこらしてみると発見があり、思わぬ歴史が眠っていることもある。そんな街歩き醍醐味の詰まったビルなのだ。

ネーションの「OSAKA光のルネサンス」は、島民にとっての冬の風物詩。この成功をきっかけに、イルミネーションイベントは大阪全体へ広がっていった感がある。中之島図書館や中央公会堂で行われる光のアートプログラムは常に時代をリードしてきたし、川があることで中之島と光の相性が増している。川面に映る光の美しさは大きな発見だった。ほたるまち港を会場とした「中之島ウエスト・冬ものがたり」でのイルミネーション・プログラムも始まった。No.29

89「中之島ウエスト」

新キーワード。

中之島の町内会である。古くから住む人たちが商売を営む人が集まって活動を続けている。春は花見夏は精霊流しやラジオ体操、秋のお月見に冬の餅つき。おなじみの年中行事が中之島でも行われているのだ。減る一方だった会員数も、マンションの増加と共に回復傾向にあり、親子連れで活動に参加してくれる人も増えているそう。まさに「島民」が楽しく暮らしていく中で、街はまた変わっていくのだろう。No.18、76

88「中之島連合振興町会」

中之島の西側の先端を眺めると、日本を訪れる外国人観光客は今後もしばらくは増え続けそう。大阪や中之島もその恩恵に浴しているというのは、各種報道や本誌特集でもご承知の通り。一方で、「爆買い」に代表される大量・高額の消費行動はすでに下火になりつつあるとの声も。旅行客の関心は買い物から食や街並みへと移っており、生活体験観光へとシフトしていくと見られている。No.96

中之島の西の端、安治川上流の兩岸を含む一帯のこと。海と街をつなぐ、まさにゲート的なエリアだ。昨年春には中之島漁港がオープンし、



91「中之島GATE」

90「アフター23」

中之島と言えば少し前までは昼型一辺倒というイメージだったが、川の対岸エリアまで含め、ここ最近では夜でもすっかり賑やかになった。住む人が増えた影響もあって、夜11時以降でも開いている店も増えている。橋梁のライトアップも11時までだし、そこまで遅くはないけれどナイトクルーズも増えている。夜の楽しみはまだまだ伸びしろがありそう。No.71、88

全国各地の漁港から届いた新鮮な魚が集まる場として大きな注目を浴びた。今年10月にリニューアルオープン。2日間限定の特売セールなどで盛り上がった。買えるだけでなく、バーベキューなどで新鮮な魚を味わえるのも魅力。

93「タワーマンション」

中之島に「住む」というのは、トレンドとしてすっかり定着した感がある。大規模なタワーマンションがここ10年ほど一気に増えたためだ。それに伴い、周辺にスーパードがでるなど、生活の色が濃くなっているのも最近の傾向である。現在建設中のザ・パークハウス中之島タワーは、なんと地上55階建て。2年後に入居が始まる予定とのこと。No.18、76

政府が力を入れている。こともあられ、日本を訪れる外国人観光客は今後もしばらくは増え続けそう。大阪や中之島もその恩恵に浴しているというのは、各種報道や本誌特集でもご承知の通り。一方で、「爆買い」に代表される大量・高額の消費行動はすでに下火になりつつあるとの声も。旅行客の関心は買い物から食や街並みへと移っており、生活体験観光へとシフトしていくと見られている。No.96

92「インバウンド」

中之島の西側の先端を眺めると、日本を訪れる外国人観光客は今後もしばらくは増え続けそう。大阪や中之島もその恩恵に浴しているというのは、各種報道や本誌特集でもご承知の通り。一方で、「爆買い」に代表される大量・高額の消費行動はすでに下火になりつつあるとの声も。旅行客の関心は買い物から食や街並みへと移っており、生活体験観光へとシフトしていくと見られている。No.96

中之島の西側の先端を眺めると、日本を訪れる外国人観光客は今後もしばらくは増え続けそう。大阪や中之島もその恩恵に浴しているというのは、各種報道や本誌特集でもご承知の通り。一方で、「爆買い」に代表される大量・高額の消費行動はすでに下火になりつつあるとの声も。旅行客の関心は買い物から食や街並みへと移っており、生活体験観光へとシフトしていくと見られている。No.96

中之島を「読む」ならこの本。

94 中沢新一『大阪アースダイバー』（講談社・2012年）
縄文時代の地形図と現代の地図を重ね合わせることから、壮大な土地の記憶を紐解いていく。大阪全体について書かれた本だが、大阪の「なりたち」をイメージできる名著。

95 『水都』大阪物語（藤原書店・2011年）
いわば都市全体が「水都」と言える大阪と水とのつながりを、さまざまな時代・観点から考察する。中之島が「水都」の中で担ってきた役割を、他のエリアとの関係から客観的に理解できる。

96 橋爪紳也監修／高岡伸一・三木学編著『大阪モダン建築』（青幻舎・2007年）
オールカラーでエリアごとに分けられ、必要にして十分な情報がまとまっている。年表や人物名鑑など、かゆい所に手が届くとはこの本のこと。

97 福田紀一『霧に沈む戦艦未来の城』（河出書房新社・絶版）
中之島全体が戦艦になっていて、ラストで飛びたつというSF小説。荒唐無稽ではあるが、誰もが抱くベタな想像をここまで膨らませられるのかという素晴らしい思考実験。

98 有栖川有栖『鍵の掛かった男』（幻冬舎・2015年）
全編を通して中之島が舞台となるミステリーは他にない。ストーリーもさることながら、現代の中之島の街を、人気ミステリー作家がどのように表現しているかも注目して読んでほしい。

100 公会堂 レトロじゃなく モダンなの

確かに古い建造物ですが、それだけじゃない。けっこうキッチュな配色だと思うのです。大阪人のいちびり文化の象徴ですね。



みなさまのご愛読に感謝して

月刊島民100号記念 スペシャル企画



ありがとうございます

その1 読者に一番愛されているのはどの号だ!?

「あなたが選ぶベスト・オブ・月刊島民」

第1号から第100号まで、あなたの好きな月刊島民を選んで投票してください。面白かった、印象に残った、表紙がカッコいい…理由は何でもOKです。ぜひこの機会に今までの月刊島民をふり返ってください。途中から読み始めたという方も、まだ読んだことのない号を見て、お気に入りを見つけてください。

●投票受付期間 2016年11月1日(火)～30日(水)

【投票方法①】

ナカノシマ大学webサイトの 100号記念ページへアクセス。

ナカノシマ大学のwebサイト内に月刊島民100号記念のスペシャルページが登場します。そちらへアクセスして、投票してください。バックナンバーも見られます。
<http://nakanoshima-univ.com/100gokinen/>

【投票方法②】

大阪府立中之島図書館にも 「投票所」が登場!



月刊島民でも何度もご紹介している中之島図書館の正面玄関エントランスに投票所が登場。一覧表でこれまでの号をふり返りながら投票できます。「インターネットはあんまり使えん…」という人はこちらをどうぞ。

●ルール

持ち点10点を自由に投票できる!

1人につき持ち点は10点です。月刊島民第1号～から第100号の中から好きな号を選び、点数を自由に振り分けて投票してください。10冊選んで1点ずつ、一番のお気に入りに10点、なんでもOKです! ※投票はお一人様1回とします。重複があった場合無効となります。ご注意ください。



「私はこう選びました」

ベスト・オブ・月刊島民 審査委員長 高島幸次さん
いかなる選択にも恣意が忍び込む。それを承知で、最も本誌らしいテーマとして第85号「中之島名所番付2015」(5点)。読み捨てられる運命のフリーペーパーなのに保存版として第24号「天神祭の歩き方」(3点)。何回眺めても飽きないビジュアル版として第67号「浪花百景大研究」(2点)。



5点



3点



2点

投票して下さった方に…豪華なプレゼントが当たります!

月刊島民やナカノシマ大学でおなじみの方々にご協力いただき、豪華なプレゼントをご用意しました。投票していただいた方の中から抽選で当たります。



3名様

中之島フェスティバルタワー賞
「フェスティバルホール
オリジナルワイングラス(ペア)」



5名様

フェスティバルプラザ賞
「フェスティバルプラザ
お買い物チケット(3,000円分)」



5名様

五感賞
「黒豆ドーナツ ええもん
(10個入り)」



5組
10名様

大阪水上バス賞
「アクアライナー乗船券(ペア)」



10名様

京阪グループ賞
「MINAMO(京阪電車渡辺橋駅内)
お食事券(1,000円分)」

※プレゼント抽選は12月15日頃に行い、当選発表は当選者への連絡をもって代えさせていただきます。なお、プレゼントは選べません。

その2 投票結果をいち早く発表します!

「カウントダウン! 月刊島民ベストテン」

読者のみなさんからのベスト・オブ・月刊島民投票の結果を発表! 果たして1位に輝くのはどの月刊島民なのか? 一緒にカウントダウンしましょう。

●参加特典

ベストテン予想クイズ

来場時にベストテンに入りそうな号を3冊予想して投票。
見事、3冊ともランクインした方には豪華プレゼントを進呈。

嬉しいお土産付き!

参加してくださった方には中之島にちなんだ
スペシャルなお土産付き。内容は来てのお楽しみです。

●日時・会場

日時/2016年12月8日(木) 7:00PM～(開場6:30PM～)

会場/大阪市中央公会堂 小集会室 参加料/1,500円(お土産付き) 定員/80名

●出演者

ゲスト審査員/高島幸次ほか 司会進行/月刊島民プレス(大迫 カ・江口由夏)

●申し込み方法

ナカノシマ大学の応募方法に準じます。P14をご参照ください。

LA TERRASSE

RESTAURANT WEDDING



パタゴニアサーフ大阪/アウトレット
→ アウトドアウェア&サーフグッズ
Open 11:00 / Close 19:00
☎ 06-6443-6610 【年末年始のみ休業】

RESTAURANT WEDDING
NAKANOSHIMA
TERRACE
F&B M&E



ラテラス中之島
→ 仏蘭西料理
Open 11:30 / Close 21:00
☎ 06-6233-8822 【火曜不定休】

patagonia
surf/outlet



ナカノシマテラス&ミー
→ レストラン&ウェディング
Open 12:00 / Close 19:00
☎ 06-6233-8070 【火曜・水曜定休】

BB
BAR BANKS



フラワーズ
→ アメリカンダイナー
Open 11:30 / Close 22:00
☎ 06-6443-3375 【月曜定休】

THE WARM CRAFTS-MANUFACTURE
Hand Made in Japan



バーバンクス
→ バー&クルーズサービス
Open 19:00 / Close 26:00
☎ 06-6445-7705 【不定休】

FLOWERS
CAFFE & BAKERY



ジ・ウォームスクラフツマニファクチャー
→ ホースレザーグッズ
Open 13:00 / Close 20:00
☎ 06-4256-8588 【木曜定休】

Remodel

September 2016

中之島バンクス「5周年」リニューアルオープン!

京阪電車中之島線「中之島」駅直結

〒530-0005 大阪市北区中之島 5-3-60 【お問い合わせ】株式会社 長古堂 ☎ 06-6943-4197

BANKS RIVERSIDE MARKET

「毎月第2・第4の土日はバンクスリバーサイドマーケット」



中之島バンクス

検索

<http://www.nakanoshima-banks.com/>



『月刊島民 中之島 100号ご発刊、誠にありがとうございます』 ~中之島バンクス・テナント会一同~

たかが「寄席」、
されど「大学」。
ありそうすなわった
笑いと学びの120分。



ナカノシマ大学
NAKANOSHIMA UNIVERSITY

寄席
始まります！

21世紀の
懷徳堂
プロジェクト

ナカノシマ大学寄席 第1回

「落語ワールドの言葉遣い

—役割語の働き—

落語／林家花丸 桂三四郎

講演／金水 敏(大阪大学大学院文学研究科教授)

司会／高島幸次(大阪大学招聘教授)

◎ナカノシマ大学寄席とは？

笑って楽しむものという印象の強い上方落語は、単なるフィクションだと思われがちだ。確かに落語には面白くするためのデフォルメや虚構が入り乱れているけれど、そのディテールを慎重に読み解けば、街の人々の生活や精神世界、歴史の実相が垣間見えたりする。ナカノシマ大学寄席では、そんな落語の持つ意外な深みに、大阪大学の教授陣がスポットを当てる。落語の「こんな楽しみ方」を紹介する、「寄席」であり「大学」なのだ。

古典落語の改作が話題のネタ2本立て！ またどない豪華な取り合わせにご期待を。

林家花丸「ナイモンガイ」&桂三四郎「MOMO」×金水敏「役割語」

落語は登場人物の特徴的な言葉遣いによって、その人物の性別・年齢だけでなく職業や教養の程度、さらには立ち居振る舞いまでもが思い浮かべられる話芸だ。こうした特定の人物像をイメージさせる特徴的な言葉づかいを、「役割語」として定義し研究しているのが大阪大学の金水敏先生。近年は中国人をイメージさせる「アルヨことば」など、外国人を印象づける言葉まで視野に入れた研究を進めている。

この役割語について、落語を聴きながら楽しく学ぼうというのが今回のテーマ。登場するのは林家花丸さんと桂三四郎さん。花丸さんが披露する「ナイモンガイ」は、古典落語「無いもん買い」の改作で、初演時からその改作ぶりが大きな話題に。一方、桂三四郎さんの「MOMO」も古典落語「桃太郎」をアレンジ。おなじみの昔話に突っ込みを入れる場面で役割語が大活躍する。

2席に大笑いした後は、高島幸次先生の進行のもと、金水先生が落語と役割語の関係を解説。花丸さんや三四郎さんから演じ手ならではの裏話が聴けるかも！



「落語ワールドの言葉遣い—役割語の働き—」

日時／2016年12月14日(水)

7:00PM～9:00PM頃(開場6:30PM～)

会場／大阪大学中之島センター 佐治敬三記念ホール

受講料／2,500円

定員／180名

主催／ナカノシマ大学事務局

共催／大阪大学21世紀懷徳堂

お名前・ご住所・電話番号・人数・講座名を明記の上、下記までハガキ、ファックス、もしくはHP内の応募フォームからお申し込みください。複数名でご参加希望の場合、ハガキ、ファックスについては、人数分の必要事項を明記してください。

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階
「ナカノシマ大学寄席 第1回」受付係 FAX.06-4799-1341

※先着順で受付後、11月20日前後より受講票をお送りします。

※受講料は講座当日に受付にてお支払いください。

※定員に達した時点で申し込みは締め切らせていただきます。

※当日のお車ならびに自転車でのご来場はご遠慮ください。

ナカノシマ大学の最新情報は

<http://www.nakanoshima-univ.com>

ケータイからは
こちら！→



お問い合わせ ☎ 06-4799-1340
(ナカノシマ大学事務局)

十二月席のご案内

申込受付中

●お題「ミステリー」

「落語はミステリアス」

クリスマス、いや1年の最後の「終い天神」の日に、豪華なゲストを迎えての天神寄席が実現！ 大人気ミステリー作家の有栖川有栖さんが天満天神繁昌亭に初登場する。中学生の頃から落語会へ足を運んでいたという有栖川さん。落語の世界とミステリー小説は果たして結びつくところがあるのだろうか？ それに合わせて落語のネタもちよつと怖くて不思議な話ばかり。ミステリアスな世界へ誘われること間違いなし。

落語「桂雲之輔」ろくろ首

桂九雀「移植屋さん」(久坂部羊作)

桂文喬「算段の平兵衛」

桂花團治「猫の忠信」

桂米左「足上がり」

鼎談「落語を推理する」

ゲスト／有栖川有栖(ミステリー作家)

高島幸次(大阪大学招聘教授)

桂春之輔

ナカノシマ大学でお得な前売り券を発売中！

開催日／12月25日(日)

開演時間／6:00PM(開場5:30PM)／受付開始5:15PM)

受講料／2300円(通常・前売2500円)／当日3000円)

お支払い方法／当日(5:15PM)、繁昌亭入口付近の「ナカノシマ大学受付」にてお支払いください。

※予定枚数に達し次第、予約受付を終了します。※ナカノシマ大学では当日券の販売は致しません。

●お申し込み方法、お問い合わせ先はP14を参照してください。

◎お断り：11月25日は他企画が開催されるため、天神寄席はありません。



桂九雀



桂文喬



有栖川有栖



九月席の二コマ

御座場御礼

鼎談「男と女の罪と業」

ゲスト／釈徹宗(相愛大学教授・宗教学者)

高島幸次 桂春之輔

高 今月のテーマである「罪と業」はどちらも仏教用語なんですよ。

春 立川談志さんは「落語は人間の業の肯定」と言うてましたな。

釈 落語は立派な人があまり出てこない庶民の芸ですから。金がほしいとか女好きとか、「そんな悪業だつて語りに乗せて表現していくんだ」と言いたかったのでしょうか。

高 一方の「罪」も、仏教だけでなく宗教ごとに意味が異なりますね。

釈 はい。キリスト教で言えば人間の存在自体が罪なんです。すべての人が原罪を背負って生まれてきたと考えられている。

高 仏教と神道でも全然違います。

釈 仏教の場合は、まずすべての行為が自分の業として蓄積されていくと考えます。悪い言葉を使ったり、悪い考えを抱いていると、服にいやな匂いが染みつくようにそれが溜まっていく。そこに罪が発生します。

仏教の時間論は独特で、過去も未来も虚構であり、今の一瞬しかないと考えます。この瞬間により良い行いや思考をすると、次の瞬間がまた良いように変わると考えるのです。

高 今月のテーマである「罪と業」はどちらも仏教用語なんですよ。

春 立川談志さんは「落語は人間の業の肯定」と言うてましたな。

釈 落語は立派な人があまり出てこない庶民の芸ですから。金がほしいとか女好きとか、「そんな悪業だつて語りに乗せて表現していくんだ」と言いたかったのでしょうか。

高 一方の「罪」も、仏教だけでなく宗教ごとに意味が異なりますね。

釈 はい。キリスト教で言えば人間の存在自体が罪なんです。すべての人が原罪を背負って生まれてきたと考えられている。

高 仏教と神道でも全然違います。

釈 仏教の場合は、まずすべての行為が自分の業として蓄積されていくと考えます。悪い言葉を使ったり、悪い考えを抱いていると、服にいやな匂いが染みつくようにそれが溜まっていく。そこに罪が発生します。

仏教の時間論は独特で、過去も未来も虚構であり、今の一瞬しかないと考えます。この瞬間により良い行いや思考をすると、次の瞬間がまた良いように変わると考えるのです。

高 今月のテーマである「罪と業」はどちらも仏教用語なんですよ。

春 立川談志さんは「落語は人間の業の肯定」と言うてましたな。

釈 落語は立派な人があまり出てこない庶民の芸ですから。金がほしいとか女好きとか、「そんな悪業だつて語りに乗せて表現していくんだ」と言いたかったのでしょうか。

高 一方の「罪」も、仏教だけでなく宗教ごとに意味が異なりますね。

釈 はい。キリスト教で言えば人間の存在自体が罪なんです。すべての人が原罪を背負って生まれてきたと考えられている。

高 仏教と神道でも全然違います。

釈 仏教の場合は、まずすべての行為が自分の業として蓄積されていくと考えます。悪い言葉を使ったり、悪い考えを抱いていると、服にいやな匂いが染みつくようにそれが溜まっていく。そこに罪が発生します。

仏教の時間論は独特で、過去も未来も虚構であり、今の一瞬しかないと考えます。この瞬間により良い行いや思考をすると、次の瞬間がまた良いように変わると考えるのです。

高 今月のテーマである「罪と業」はどちらも仏教用語なんですよ。

春 立川談志さんは「落語は人間の業の肯定」と言うてましたな。

釈 落語は立派な人があまり出てこない庶民の芸ですから。金がほしいとか女好きとか、「そんな悪業だつて語りに乗せて表現していくんだ」と言いたかったのでしょうか。

高 一方の「罪」も、仏教だけでなく宗教ごとに意味が異なりますね。

釈 はい。キリスト教で言えば人間の存在自体が罪なんです。すべての人が原罪を背負って生まれてきたと考えられている。

高 仏教と神道でも全然違います。

釈 仏教の場合は、まずすべての行為が自分の業として蓄積されていくと考えます。悪い言葉を使ったり、悪い考えを抱いていると、服にいやな匂いが染みつくようにそれが溜まっていく。そこに罪が発生します。

仏教の時間論は独特で、過去も未来も虚構であり、今の一瞬しかないと考えます。この瞬間により良い行いや思考をすると、次の瞬間がまた良いように変わると考えるのです。

高 今月のテーマである「罪と業」はどちらも仏教用語なんですよ。

帰ってきた! 関西人のための

「新潟のええとこ・うまいもんゼミナール」

第2回「街的・にいがた旅のススメ」講師/江 弘毅

大阪の「街的」編集者
日本海の「水の都」をゆく!

今年の第2弾では、「街的」という言葉を生みだし、関西の食、街、人、歴史を30年以上取材し、大阪で根強いファンを持つ編集者・江弘毅さんが、大阪と同様に歴史ある港町・新潟市を中心に街場を歩きます。関西と異なる新潟の「魅力」とは何か? そこにしかない

面白みと、ゆしみ方を江さん独特の視点とフレーズで語ってもらいます。岸和田で生まれ育ち、だんじり祭りを50年以上経験してきた江さんは、さまざまな文物の交差点である「港」の重要さを実感。泉州の港が先進的な漁法を日本全国に広める役割を果たしたように、新潟の港もまた、北前船の重要な中継地点である時代を経て、安政

5年(1858)の日米修好通商条約の際に日本海沿岸の国際港として本格的に開港し、現在に至っています。江さんが訪れたのは江戸時代初期に開かれた「古町」界隈。祇園や北新地と並ぶ花街では今もお座敷遊びが盛んで、料亭や風情ある居酒屋が並びます。関西人があまり知らない、北国の「水の都」の街話をたつぷりと。



右/新潟花街のお座敷遊び「樽拳(たるけん)」。樽の蓋を叩きながらじゃんけん。3回勝負で負けると杯を飲み干す上/港町新潟を代表する高級魚、脂ののったノドグロの刺身 下/老舗料亭や居酒屋、割烹が連なる「鍋茶屋通り」



こう・ひろき

1958年岸和田市生まれ。雑誌『ミーツ・リージョナル』編集長を経て、編集集団140B編集責任者。著書に『「街的」ということ』(講談社現代新書)、『街場の大阪論』(新潮文庫)、『飲み食い世界一の大阪』『K氏の遠吠え』(ミヤマ社)、『濃い味、うす味、街のあじ。』(140B)など。『月刊島民』編集発行人。

◎今シーズンの会場は

梅田・大阪富国生命ビル4Fの多目的スペース[アサヒ ラボ・ガーデン]。食やお酒、スポーツ、子育て等のイベントを頻繁に開催。フリースペースでは休憩や友人との待ち合わせに、読書に使える憩いの場です。授乳室も完備。食と健康にちなんだ書籍もあります。

11:00AM~8:00PM 日曜休(祝日は営業) ※年末年始休

<http://www.asahigroup-holdings.com/research/labgarden/index.psp.html>



この後も超強力講師陣、ゾクゾク! ※以下の応募受付は来月以降、順次行います。

第3回 1.11(水) 江部拓弥(雑誌『dancyu』編集長)

第4回 2.1(水) 葉石かおり(利き酒師・エッセイスト)

第5回 3.1(水) 北出恭子(温泉ソムリエ・TVタレント)+遠間和広(温泉ソムリエ家元) ※予定

「街的・にいがた旅のススメ」

日時/2016年12月6日(火)

6:30PM~8:00PM(開場6:00PM)

会場/アサヒ ラボ・ガーデン(大阪富国生命ビル4F)

受講料/無料(新潟県のおみやげ付き) 定員/50名

主催/新潟県観光協会大阪観光センター

共催/上越・糸魚川・妙高観光連携実行委員会(第4・5回)

協力/アサヒ ラボ・ガーデン

運営/新潟のええとこ・うまいもんゼミナール事務局

お名前・ご住所・電話番号を明記の上、下記までハガキ・fax、もしくはナカノシマ大学HP(<http://nakanoshima-univ.com/>)内の応募フォームからお申し込みください。ハガキ・faxでお申し込みの方で複数名の(応募される方も含めて4名まで可能)ご参加希望の場合は、人数分の必要事項を明記し、講座名と開催日を必ずお書き添えください。〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4F「関西にいがたゼミ」係 tel.06-4799-1340(平日10時~18時) fax.06-4799-1341 ※締切=11.18(金)必着。応募者多数の場合は抽選。当選の方にのみ、締切から5日以内に受講票を発送します。

新潟県へのアクセス

●JRの場合(大阪駅から)

特急サンダーバード→北陸新幹線

(金沢駅乗換、糸魚川駅・上越妙高駅)

約3時間50分

東海道・上越新幹線(東京駅乗換、新潟駅)

約4時間20分

●航空機の場合(大阪伊丹空港→新潟空港)

約1時間05分(1日10往復)

●クルマの場合(吹田IC→新潟中央IC)

名神高速道→北陸自動車道 約6時間30分

クルーが毎月綴ります／

大阪水上バスの クルーズ歳時記

今月のオススメ 乗船券&グルメプラン

クルーズの企画を考える上で、忘れてはいけないのが、季節感と満腹感だと思っています。春には春の、秋には秋の季節を感じられる中之島は、クルーズにぴったりです。

そして、満腹感。アクアライナーでは、ホテルやレストランとコラボレーションした、グルメセットプランを用意しています。大阪城港のお向かいにあるホテルニュー



大阪水上バス
企画宣伝部
岸田俊徳さん



オータニ大阪ともいくつかのコラボプランがあり、この時期なら花籠弁当がいただけるプランがオススメです。



「真田丸」をイメージして作られたお弁当を、ホテルの最上階から、大阪城を眺めながら食べるなんて、心も満腹になるに違いありません。他のお食事も素敵ですので、ご自分に合ったクルーズとグルメのチョイスを探してみてください。

大切な人と大切な時間の使い方も楽しんで選べるのが水辺の魅力です。アクアライナーに乗って、満腹を探してみませんか。

料金／4,200円(要予約・10名以上) 乗船券＋花籠弁当付き(ホテルニューオータニ大阪18階【フォアシーズンズ】にて) 出発港／大阪城港 時間／11:00AM～5:00PM

アクアライナー



☎06-6942-5511

KEIHAN
大阪水上バス

<http://suijo-bus.osaka/>

トウミン月報

2016年11月1日発行

貸切電車公演もお見逃しなく！ アートエリアB1の鉄道芸術祭

京阪電車なにわ橋駅の構内にあるアートエリアB1では、11月12日より毎年恒例の「鉄道芸術祭」が開催される。鉄道を組み合わせた新たな発想か



〈スペースロブスター P-81〉1981
撮影：米田定蔵 ©Chu Enoki



〈Z-MACHINES〉2013



「魔女 KUARUPUJ」©小学館

ら、鉄道にまつわる歴史や文化を捉え直してみようというプロジェクトのこと。これまでも、大阪にゆかりが深い現代作家による京阪沿線モチ

利用して撮影した車両の写真展といった、独創的なプログラムが好評だった。第6弾である今年のテーマは「ストラクチャーの冒険」。構造や基盤を意味するストラクチャーという言葉に沿って、会場内には鉄の廃材を用いた巨大機械彫刻、情報システムや緻密なイラストがベースになった現代美術作品などが展示される。鉄道と異分野のアーティストたちの、斬新な切り口が見どころのひとつだ。

アートエリアB1 鉄道芸術祭vol.6「ストラクチャーの冒険」

期間／11月12日(土)～2017年1月22日(日)

時間／12:00AM～7:00PM 休館日／月曜

※12月14日～25日は9:00PMまで・一部有料イベントあり

電車公演「クラブ電車～ストラクチャーの冒険～」

日時／12月4日(日)PM発車(開催時刻は要問い合わせ)

運行コース／中之島駅～樟葉駅～なにわ橋駅

定員／150名(要事前申込・先着順) ※定員に達し次第締切

参加費／前売2,500円 当日3,000円

申し込み・問い合わせ ☎06-6226-4006(アートエリアB1)

(江口由夏・本誌)

お申込みはお早めに。

学校法人 帝塚山学院

100周年記念 芸術展

～ 感性の豊かさは人生の豊かさ ～

期間：11/3(木・祝) 4(金)・5(土) 6(日)
12:00～18:00 10:00～18:00 10:00～16:00

場所：堂島リバーフォーラム(〒553-0003 大阪市福島区福島1-1-17)

園児・児童・生徒・学生・同窓生の作品を一堂に展示。初日の3日(木・祝)限定※で、小出楯重氏「卓上の花」を特別公開いたします。

※12:00～17:30

お問い合わせ

学校法人帝塚山学院 創立100周年記念事務局
〒558-0053 大阪市住吉区帝塚山中3-10-51 TEL.06-6672-1960





「英国。パブのように会話を楽しみながら、 ゆっくり飲むのがオススメです」

中之島で働き始めて、1年半が経ちました。「HUB」は全国にあるのですが、

他店のスタッフと意見交換をする、中之島店には本場にいろいろなお客さんがいらつしやると実感します。フェスティバルタワーに勤めている方、フェスティバルホールの公演目当ての方、ご近所にお住まいの方。11時から深夜まで通し営業していることもあり、使い方も人それぞれ。ランチや夜の二軒目使い、スポーツ観戦で来られる方もいますよ。

日本ではまだ英国風パブの習慣が根付いていませんが、現地へ研修に行ったとき、パブが英国人の生活に欠かせない存在であることを実感しました。職場と自宅の間にパブがあり、毎日その間を行き来する感覚です。スタッフや隣り合った人と何気ない会話を交わし、一杯のエールビールを時間をかけて飲み、時にはさっと帰って明日もまた訪れる。まさに「パブリックハウス（公共の家）」なんです。



中之島でも「HUB」がそういう存在になれるよう、店の雰囲気づくりには気を使っています。常連さんの顔や好みをスタッフ同士で共有したり、混雑時でも

コミュニケーションを忘れないよう連携を深めるのは大事なことです。常連さんから



の「ちょっと聞いてよ」は、距離が近くなったようで嬉しいですね。注文するたびにカウンターで精算する「キャッシュオンデリバリー」というシステムも、お客さんとさりげなく会話できる良いきっかけです。

その際に、注文したお酒の感想をよくいただきます。たとえば「HUB」オリジナルの「ハブエール」。プルワリーで樽詰めし、当日に冷蔵発送するので鮮度は抜群。口当たりがやわらかくて飲みやすいと評判です。日本でポピュラーなラガービールは、低温で発酵させる「下面発酵」が主流。一方、エールは常温で行う「上面発酵」のため、フルーティな香りと味が特徴です。時間が経って温度が上がっても美味しさが続くので、ラガービールのように冷えたものをぐいぐい飲むのではなく、本場のパブのように会話を楽しみながら、一杯をゆっくり味わうのが私流の飲み方です。

こだわりのビールを笑顔でサーブ

[HUB 中之島フェスティバルプラザ店] 店長代行 松下こころさん

005年の登場から数えて24番目のレシピ。今回は伝統的な英国産セントゴールディングスというホップを100%使い、より穏やかな味わいになりました。他のビールと飲み比べてみて、ぜひ感想を教えてください。

祝 祭 へ よ う こ そ 。



<http://festivalplaza.jp/>
提供／株式会社 朝日ビルディング

Information from HUB 中之島フェスティバルプラザ店 [中之島フェスティバルタワーB1階]

ハブエールは1バイント880円、1/2グラス490円、3/4グラス700円。秋冬バージョンは来年3月頃まで味わえる。他にもギネスやキリンなどの生ビールや各種カクテル、パブらしいフィッシュアンドチップス(630円)やナッツやジャークーなど気軽なおつまみも取り揃えている。いつ来店しても楽しめるよう、一年を通してキャンペーンやイベント開催にも積極的だ。

☎06-6233-8682 11:00AM~11:45PM (LO)
<http://www.pub-hub.com>



大「島民」MAP

橋を渡って通う人、川を見ながら帰る人、
みんな「島民」です！



『月刊島民』はここでもらえます。

- 京阪電車関連 京阪電車主要駅／京阪シティモール／京阪モール／デリススタ天満橋店／ホテル京阪 天満橋／ホテル京阪 京橋 グランデ
- 大阪市北区・中央区・福島区 〔書店〕旭屋書店 梅田地下街店／紀伊國屋書店 梅田本店／グランフロント大阪店／本町店／ジュンク堂書店 大阪本店／梅田ヒルトンプラザ店／天満橋店／MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店／文教堂書店 淀屋橋店／隆祥館書店 〔公共施設・大学関連施設など〕アイスポット／朝日カルチャーセンター／味の素 食のライブラリー／ABC朝日放送／大阪企業家ミュージアム／大阪倶楽部／大阪工業技術専門学校／大阪国際会議場／大阪市中央公会堂／大阪市立科学館／大阪市立総合生涯学習センター／大阪市役所市民情報プラザ／大阪城天守閣／大阪商工会議所／大阪大学中之島センター／大阪21世紀協会／大阪府立中之島図書館／大阪ボランティア協会／大阪歴史博物館／追手門学院 大阪梅田サテライト／川の駅はちけんや／関西学院大学 大阪梅田キャンパス／慶應大阪シティキャンパス／国立国際美術館／CITY NAIL'Sインターナショナルスクール／芝川ビル／市立住まい情報センター／少彦神社／中央電気倶楽部／適塾／ドーチャ／ホテルNCB／メビック扇町／立命館大阪オフィス／龍谷大学大阪梅田キャンパス 〔店舗・医院など〕アントール 本町本店／上町貸自転車／Ultra 2nd／江戸前鮓料理 志津町／天満橋鍼灸整骨院／MJB珈琲店／エルマーズグリーン コーヒーカウンター／大西洋服店／OOO(オー)／カセット／喫茶カンターロ／喫茶SAWA／グランスイート中之島／黒門かき／コモンカフェ／The Court／サウ花店 中之島本店／ザ・モデリ／シアトルベストコーヒー／新聞電ビル店／じろう亭／Girond's JR／心斎橋山田兄弟歯科／住友病院／セブンイレブン大阪証券取引所店／タビエスタイル／たまがわ鍼灸整骨院／東郷歯科医院／NAKAGAWA1948 淀屋橋店／ナンジャーノ／バスターレ／花かつ／BAR THE TIME 天神／平岡珈琲店／ビルミアカフェ／FOLK／プレムハウス／ミニシロー／宮崎歯科／やきとりばかや／吉田理容所／LES LESTON
- 大阪市内その他 〔書店〕旭屋書店 なんばCITY店／紀伊國屋書店 京橋店／ジュンク堂書店 難波店／福島書店／柳々堂／ループル書店 〔公共施設・大学関連施設など〕大阪科学技術館／大阪市社会福祉研修・情報センター／大阪市立中央図書館／大阪府立中之島文化芸術創造センター／川口基督教會 〔店舗・医院など〕あじさい／アートアンドクラフト／欧風食堂 ミリパル／大阪シティ信用金庫 江戸堀支店／御角かもめ／カルチャーカフェ上方／Cabo Bookshop and cafe／写真とプリント社／鳥かごキッチン／ネイルサロン スワナ／バルビコ／ホステル64オオサカ／MANGUEIRA／Loop A
- 大阪府下 旭屋書店 京阪守口店／学運堂／Books 呼文堂／水嶋書房 ぐずはモール店／大阪狭山市立図書館／大阪市立難波市民学習センター／大阪大学企画広報・社学連携事務室／大阪大学 21世紀懐徳堂／大阪大学本部／大阪府立中央図書館 摂南大学 地域連携センター／野村呼文堂／郵政考古学会／ゆとりんこ／連携考房 童子
- 大阪府以外 ジュンク堂書店 西宮店／恵文社 一乗寺店／水嶋書房 丹波橋店／伊丹市文化振興財団／川のほとりの美術館／納屋工房／タバーン・ジブソノ／百練／奈良県立図書館情報館／龍谷ミュージアム
- 東京 往来堂書店(千駄木)／BOOKSルーエ(吉祥寺)／B&B(下北沢)／隣町珈琲(荏原中延)／ONLY FREE PAPER(東小金井)

◎バックナンバーお譲りします。

バックナンバーをご希望の方には1冊100円(手数料)でお譲りしています。なお、品切れの号もありますが、予めご了承ください。お問い合わせは下記の電話番号まで。

◎定期購読も受け付け中です。

毎月確実に読みたい方は、ぜひお申し込みください。まずは下記の電話番号までお問い合わせ下さい。

次号予告 中之島バンクス、再始動。

堂島川の河川敷に社会実験的な場として誕生した中之島バンクス。
この秋、水辺の快適さをより実感できる空間にリニューアルを果たした。

●『月刊島民』vol.101は2016年12月1日発行です！

編集・発行人／江 弘毅(編集集団140B)
編集・発行／月刊島民プレス
若狭健作 網本武雄(株式会社 地域環境計画研究所)
松本 創 江口由夏 大迫 力(編集集団140B)
〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階
Tel 06-4799-1340 Fax 06-4799-1341
制作進行／堀西 賢(ALEGRESOL)
デザイン／山崎慎太郎
表紙イラスト／奈路道程
印刷／佐川印刷株式会社

こころまち つくろう
KEIHAN
京阪電車

会いたい人の顔が浮かんだ。

いいな、紅葉、
おけいはん

貴船神社（叡山電車 貴船口駅下車）／出町柳 けい子

京阪沿線の紅葉名所

鞍馬寺、貴船神社、もみじのトンネル（叡山電車 市原駅～二ノ瀬駅間）、三千院、下鴨神社、法然院、真如堂、永観堂、南禅寺、青蓮院、高台寺、清水寺、泉涌寺、毘沙門堂、醍醐寺、三室戸寺、善法律寺、男山、北野天満宮、嵐山、常寂光寺、比叡山延暦寺、三井寺、石山寺



八瀬もみじの小径

叡山電車 八瀬比叡山口駅下車



東福寺

京阪電車 東福寺駅または鳥羽街道駅下車



宇治（宇治川沿い）

京阪電車 宇治駅下車



日吉大社

京阪電車 坂本駅下車

京阪電車主要駅のK PRESS 2016 秋の増刊号「紅葉特集」、またはホームページをご覧ください。

特急 | 10分間隔で運転！

※昼間時間帯

快速特急

浴楽

毎土休日に運転！

天麗 京橋駅～五軒七条駅を
約35分でノンストップ運転！
（運転区間：淀屋橋駅～出町柳駅）

秋の増発

11/19（土）・20（日）・
23（祝・水）・
26（土）・27（日）



「便利でおトクなチケット」も発売！

お問い合わせは
京阪電車ホームページまたは
京阪電車お客さまセンター
☎06-6945-4560 9時～19時
※土休日は17時まで

www.okeihan.net

おけいはん

